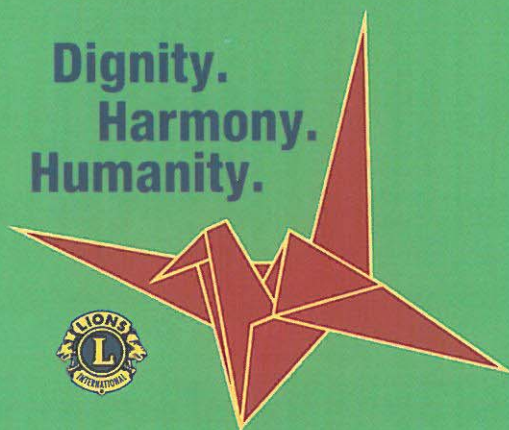


LIONS CLUBS INTERNATIONAL

DISTRICT 333-A地区 (Niigata Pre. 新潟県)

Dignity.
Harmony.
Humanity.



ガバナーズメッセージ 2015-2016

Governor Elect L SATOSHI AIDA

ガバナーエレクト L 相田 哲



- ⑤レオ育成委員会
- ⑥環境保全委員会
- ⑦ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会
- ⑧災害支援対策委員会（アラート）

4. 参考資料

- （1）会員の種類
- （2）年会費の内訳
- （3）メルビン・ジョーンズ・フェロー（MJF1000ドル）献金への中期計画
- （4）2015-2016年度予定表
- （5）その他

5. キャビネット構成表 組織図 役員名簿・住所等

- （1）キャビネット構成員構成表
- （2）333A 地区 CAB イメージ図
- （3）役員名簿
- （4）三役・事務局住所録

1. 2015-2016 年度 国際会長テーマ

国際会長エレクト JITSUHIRO YAMADA L 山田實紘

「Dignity. Harmony. Humanity(命の尊厳と和)」

平和、希望、決意、チームワーク、そして奉仕がつなぐ人と人との絆が、
会長テーマの核心です。

2015～2016 年度国際テーマのハイライト： 命の尊厳と和

毎年、何千羽もの小さな鶴が、越冬のため高度 8000 メートルのヒマラヤ山脈を越えていきます。ツル科の中で最も小さいアネハヅルがこの過酷な渡りを生き抜けるかどうかは、互いの協力とチームワーク、家族の絆、そして群れの全メンバー間の調和にかかっています。



日本では、鶴は古くから長寿の象徴とされてきました。日本の伝統工芸である折り紙でも、「鶴」は最も基本的な形であり、日本の子どもは皆折り方を習います。鶴を折ることは、病床にある友人や家族の快復を心から願う、祈りの行為となっています。鶴はまた、日本だけでなく、世界中で、平和の象徴としても知られています。

平和、希望、決意、チームワーク、そして奉仕がつなぐ人と人との絆。それこそが、2015～2016 年度の会長テーマ「Dignity. Harmony. Humanity. (命の尊厳と和)」の核心です。

人道奉仕が守る命の尊厳

自分と家族を養える能力を持つことは、人としての尊厳と自尊心を保つための基本原則の一つです。しかし、何百万という人々が、将来の生活向上や子どもの養育にほとんど希望を持っていない状態にあります。

子どもの尊厳イニシアチブによって既存プログラムの強化と拡大を行うことにより、私たちは今年度も引き続き、子どもたちを対象とした奉仕の取り組みを重視します。このイニシアチブでは、ライオンズが次のような活動によって児童奉仕の拡大に当たることを推進します。

- 入院生活を送る子どもたちを支援し希望をもたらす
- 難民キャンプの子どもたちの必要を満たす
- 飢えに苦しむ子どもたちを助ける
- リーディング・アクション・プログラムを継続・拡大する

以上は、子どもたちのニーズに当たる奉仕方法のほんの一部です。子どもの尊厳イニシアチブに関する詳細は、www.lionsclubs.org でご確認ください。

人のために奉仕すること。われわれの奉仕の遺産は、100 年近くの長きにわたり築き上げられてきたものです。

2018 年 6 月 30 日までに 1 億人への奉仕を目指す *百周年記念奉仕チャレンジ* の目標を達成するためには、それぞれの分野における奉仕の量を今の 3 倍に増やし、MyLCI のアクティビティ報告を使ってその活動を報告するようクラブに呼びかけ続けなければなりません。奉仕を行うことによって、私たちは世界を変え、また調和と、相互理解と、平和の種を撒いているのです。

文化交流とグローバル合同事業が生み出す調和

国際的な組織であるからには、自分のものとは異なる文化を理解し尊重しなければなりません。地区ガバナーや協議会議長には、他国のガバナーや議長と国境を超えた関係を築き、グローバルな合同奉仕事業に取り組む可能性を検討することが奨励されます。クラブにも、姉妹提携プログラムを通じて同様の取り組みに着手することが推奨されます。文化圏や価値観の異なるメンバーと交流することにより、視野が広がり、それが自らの地域で行う活動のヒントともなるはずです。

会員の増加は奉仕の増加

会員とクラブは、国際協会の心臓です。奉仕を続けるためには、会員を増やし続けなければなりません。われわれの発展は、行動的なグローバル会員増強チーム、さまざまな会員増強プログラムと抱き合わせた効果的なマーケティング戦略、クラブレベルに始まる献身的リーダー、そして女性や家族への働きかけなど、多くの要因によって実現されます。

私たちはこれまで力を合わせ、140 万人近くにまで会員数を増やしてきましたが、これからもこの成長を持続し、この先 100 年もつねに時代に即した組織であり続けなければいけません。新しいアイデアに耳を傾け、グローバル会員増強チームやグローバル指導力育成チームのメンバーたちと協力して新たな増強策を練り、奉仕を通じて会員たちを引きつけ、またリーダーたちを育てていく必要があります。

成功のカギを握るのはクラブ会長

クラブ会長は、協会の発展にとって欠かせない存在です。メンバーたちが自信を感じ、他のメンバーや地域社会と心を合わせて協力できるよう、クラブ会長一人ひとりがクラブの雰囲気を刷新していくことが求められます。

「アスク・ワン」は家庭から

ライオンズに対するあなたの決意と情熱を、家族とも分かち合いましょう。ライオンズとして一緒に奉仕する家族は、人のために奉仕することを家庭の伝統とすることになります。「アスク・ワン」会員増強キャンペーンは、家庭から始まります。ライオンズ・ファミリーが先頭に立って地域奉仕に励むなら、世界一の奉仕団体としてふさわしい評価を受けることができるでしょう。

LCIF ― 尊厳を守り、調和を図り、人類に仕える

LCIF は、交付金を通じて世界中の人々の友好を深め、苦しみをなくし、希望と尊厳を取り戻している、われわれの国際的奉仕活動の核です。ライオンズの会員には、あらゆる機会を利用し、惜しみない寄付とメルビン・ジョーンズ・フェローを通じて LCIF を支援していただきたいと思います。

地区ガバナーエレクトの皆さん。協会創立 100 周年を目前に他者への奉仕にますます邁進していく中で、われわれが奉仕する相手の尊厳を重んじること、奉仕とは単なる親切ではなく相互理解と調和をはぐくむ手段であること、そして人類に仕えることは義務ではなくわれわれの責任であることを、つねに肝に銘じようではありませんか。

2. 2015-2016 年度 地区ガバナーズメッセージ

Governor Elect SATOSHI AIDA L 相田哲

「 常に明るく前向きに、創造的な奉仕 」

－ Creative, Change and Challenge －

地区ガバナーズ スローガン

『常に明るく前向きに、創造的な奉仕』

—Creative, Change and Challenge—

地区アクティビティ スローガン

『集まろう 心は一つ 価値ある 楽しい奉仕』



333 - A地区

ガバナー エレクト L 相田 哲

2015年4月25日、新潟テルサにおいて開催された第61回地区年次大会において、L 相田哲がライオンズクラブ国際協会 333-A地区 2015-2016年度ガバナーとして選出されました。

L 相田哲ガバナーエレクトは分水ライオンズクラブの会員で1988年の入会です。2006年度までにクラブ内の会長等の役職を多く経験の後、2009年度にゾーン・チェアパーソン、2011年度に地区YCE委員を歴任し、副地区ガバナー時代には333複合地区のGLT委員、GMT委員としても活躍されました。

受賞アワードはメルビン・ジョーンズ・フェロー賞6回をはじめ、年間会員増強賞など多数の受賞経験を持っております。

ライオンでもある美恵子夫人と2人の子供、3人の孫たちに囲まれて、同居のお母様と暖かいご家庭を育みながら、家族ぐるみでライオンズ活動に取り組んでおられます。

Governor's Message
ガバナーズ メッセージ



地区ガバナーエレクト

L 相田 哲
(分水 LC)

地区ガバナーズ スローガン

『 常に明るく前向きに、創造的な奉仕 』

—Creative, Change and Challenge—

ライオンズクラブの会員はそれぞれの地域で、あるいは国際的な活動を通して社会奉仕を行っています。ライオンズクラブという世界最大の奉仕組織の一員になることで、一人ではとても実現不可能な事業を実施、援助を必要とする人々に支援の手を差し伸べることができることと、クラブの仲間や、日本中、世界中に、同じ目的を持った新しい友人を得て、友情を育むことができます。クラブ、ゾーン、リジョン、地区、複合地区、エリア、会則地域へと広がって行くように、各クラブはそれぞれの地域から世界に確実に繋がっています。我々の使命は奉仕活動です。それには先ず単一クラブが元気で活気にあふれ、常に明るく前向きなクラブ運営を心掛け、21世紀に相応しい奉仕団体として、ライオンズクラブらしい創造的な奉仕活動に取り組んでいただきたいと思います。

年次大会のテーマは、「自利利他」と致しました。「ライオンズ道徳綱領」によれば、ライオンズクラブの会員は「真の友情は損得の上に築かれるものではなく、心と心の触れ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情を持つこと／不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと／批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊を避けること」などの姿勢が要求されています（金銭アクティビティ・家族会員等）。100年前の1917年ライオンズクラブを創設したメルビン・ジョーンズは、「人は、誰かのためになることをして、初めて成功したといえる」との信条を持っていました。自分の利益のためにだけではなく、他人に尽くしてこそ我々の使命が実現できると、私は信じています。人生は1回しかありません、やり直しができません。悔いの残らないように、これから一年間皆さんと一緒に全力で奉仕活動に挑戦しましょう。

ライオンズクラブ100周年記念プログラムへの取り組み

ライオンズクラブが100周年（2017年）を迎えるまで、あと2年となりました。国際協会は100周年記念奉仕事業と100周年記念会員増強を支援しています。国際協会役員の一員として、ガバナーチーム、グローバル・メンバーシップ・チーム（GMT）・グローバル・リーダーシップ・チーム（GLT）・家族及び女性チーム（FWT）・100周年・ライオンズクラブ国際財団（LCIF）の5人のコーディネーター、地区の委員会を通じて単一クラブに情報をお伝えして参りますので、各クラブは、各クラブのやり方で積極的に取り組んでいただきたいと思います。

[100周年記念奉仕チャレンジ (CSC)]

2014年7月1日から2018年6月30日までに、4つの分野でそれぞれ2,500万人、合計1億人に奉仕を行うこと。

○青少年の健全育成アクティビティ

青少年交換 (YCE)・レオ育成・ライオンズクエスト・薬物乱用・スポーツ・教育・文化

○視力保護・アイヘルスアクティビティ

アイバンク・盲導犬・アイヘルス・視覚障害者支援

○飢餓から救うアクティビティ

食糧支援・貧困対策・途上国支援

○環境保護アクティビティ

環境保護・育成＝植樹・清掃

ガバナー方針

- ◆ 100周年記念奉仕チャレンジ (CSC) を策定し実施する
- ◆ 100周年記念会員増強チャレンジの中期計画を策定し実践する

(2018年6月30日まで)

- ◆ あらゆる世代・あらゆる職業を包括して支部・クラブを結成しよう
- ◆ 女性会員クラブを結成 (EXT.) し家族及び女性会員を倍增しよう
- ◆ 次代を担う若きリーダーを確定し育成計画を策定し実践しよう
- ◆ 世界の恵まれない人々のために組織的な献金計画を策定し実践しよう
- ◆ 「^{じりりた}自利利他」の心で、楽しく WE SERVE !!!

大会テーマ

自^じ利^り利^り他^た（自利とは利他をいう）

TKC 全国会創設者の飯塚毅氏は、次のように述べています。

『大乘仏教の経論には、「自利利他」の語が実に頻繁に登場する。解釈にも諸説がある。その中で私は「自利とは利他をいう」（最澄伝教大師伝）と解するのが最も正しいと信ずる。』

『仏教哲学の神髄は、「相即の論理」である。般若心経は、「色即是空」と説くが、それは「色」（煩惱）を滅して「空」（覚り）に至るのではなく、「色の力そのままに空の力」であるという真理を表している。』

『同様に「自利とは利他をいう」とは、「利他」のまっただ中で「自利」を覚知すること、すなわち「自利即利他」の意味である。』

自分の利益のためにだけでなく、他人に尽くしてこそ我々の使命が実現できると、私は信じています。

「ライオンズの誓い」では、「自利^(WE)（われわれは知性を高め・・・）」と「利^(SERVE)他（社会奉仕に精進する）」を宣誓しております。「自利とは利他をいう」がライオンズの奉仕活動の目的と一致していると考えています。



「流れない水は腐る」（中国のことわざ）

自分の知識や財産、その他の物など、利己的になり個人で溜め込みすぎると、利他的でもなく、世の中に有益でもなく無駄になってしまう、つまり腐ってしまうという意味です。

知識も自分で記憶して覚えて増やすのはいいが、それを他の人へ教えるなど、また、常に頭の中をある程度は空きを作り、新しいものを入れる余地を作るなどしていかないと、せつかくの知識も無駄になり腐ってしまうし、また広がっていかない。

財産も利己的に個人で貯めこみ過ぎると、利他的でもなく世の中に有益でもなく、また、経済も循環しないし、つまりは腐ってしまう。

なんでも溜め込みすぎず、利己的にならず、与えたり、シェアしたり、利他的に世の中に有益なことをして、無駄にして腐らせないで、活かして広げて行けということです。

幸せを感じる方法＝「利他的行動をしよう」

(大阪大学特別教授大竹文雄：日本経済新聞 2014. 12. 27 付一部加筆)

- ◆ 「中高年が幸せになるには、新しいことに挑戦して変わることが大事です」
- ◆ 「サラリーマンの定年後の幸福度を調べたことがあります。在職時から貯蓄や資産運用、人脈作り、健康維持を工夫していた人の幸福度は高い。そうでない人は全然違った。長期展望を持つことが重要です」
- ◆ 「すぐに効果が出るのが利他的行動です。寄附などで財を使って他人を助けると、幸福感が高まる。経済学の実験や統計的な調査でも寄附をした人の幸福感が高まることが分かっています。生活の中でそうした機会を増やすことです。」
- ◆ 「他人の役に立ち、社会のためになっているという感覚が幸福感を高めてくれる」
- ◆ 「中高年が寄附などに財を使って幸せになれば、財が巡るようになって日本経済全体にもいい効果があると思います。」

ガバナーから各委員会への提案

地区グローバル・メンバーシップ チーム (GMT)

会員増強・EXT 委員会

- ◆ 会員の動向を分析調査し支部クラブを含めた新クラブ結成を強力に推進する
- ◆ 会員増強プログラムについてクラブに情報伝達する
- ◆ 21世紀に相応しいライオンズクラブの検討
- ◆ GLT・FWT・100周年記念コーディネーターとの連携と協力

クラブサクセス（会員維持）委員会

- ◆ クラブの魅力を高め優秀な会員の退会者を減らし会員維持を目指す
- ◆ クラブ向上プロセス（CEP）を通じクラブ再建・強化のための情報を提供する
- ◆ GLT・FWT・100周年記念コーディネーターとの連携と協力

地区グローバル・リーダーシップ チーム (GLT)

会則委員会

- ◆ 必携その他の会則の改正を会員に周知する
- ◆ 国際会則、付則に抵触しない範囲で要求があれば規約の改定、作成を行う
- ◆ GMT・FWT・100周年記念コーディネーターとの連携と協力

長期計画・指導力育成委員会

- ◆ クラブの強化、指導力育成の長期計画を策定し実践する（ゾーン・メンター）
- ◆ 公認ガイディング・ライオン、CEPファシリテーターの育成
- ◆ GMT・FWT・100周年記念コーディネーターとの連携と協力

青年アカデミー委員会（会員交流）

- ◆ 目的は、GLT の目的と同じ「日本ライオンズクラブの次代を担う若手・女性リーダーの発掘と育成」です
- ◆ 333-A 地区のライオンズクラブの未来は、リーダーの発掘と育成一点にかかっていると言っても過言ではありません、「21 世紀委員会」ともいえると思います
- ◆ GMT・FWT・100 周年記念コーディネーターとの連携と協力

地区家族及び女性チーム（FWT）

青年・女性会員増強委員会

- ◆ フォーラム等の開催、その他の方法で、青年、家族及び女性の会員増強を図る
- ◆ 家族会員から正会員への世代交代も考慮した中長期計画を策定する
- ◆ GMT・FWT・100 周年記念コーディネーターとの連携と協力

地区 100 周年記念コーディネーター（2014. 7. 1-2018. 6. 30）

- ◆ 100 周年記念奉仕事業及び記念会員増強をクラブの指導者に奨励する
- ◆ 四半期毎に上記の成果を評価し、P-D-C-A のサイクルを回す
- ◆ GMT・GLT・FWT コーディネーターと定期的に連絡を取り連携し協力する

各委員会の委員長へ

PR・情報・IT委員会

- ◆ 全クラブのホームページの活用とガバナンス
- ◆ 国際協会が提供している強力なオンライン情報の利用拡大（My LCI）
- ◆ 活動の取材、広報の強化によるライオンズの存在感のアピール
- ◆ ライオンズ学習センターの利用促進と PR

国際関係・LCIF委員会

- ◆ 国際大会（INTERNATHIONAL CONVENTION）への代議員参加と登録の奨励
- ◆ 東洋東南アジアフォーラム（OSEAL オセアル）への参加と奨励
- ◆ 全クラブ会員の20ドル献金、個人献金（100\$以上）の奨励、
- ◆ メルビン・ジョーンズ・フェロー（MJF）1000\$ 献金の奨励
100周年記念として各クラブ2口以上の目標を
- ◆ LCIF 交付金利用を奨励

YCE委員会

- ◆ YCE 派遣受入の推進（特に派遣者の増員）
- ◆ 佐渡キャンプ事業の推進・活動支援

献眼・献血・糖尿病委員会

- ◆ 会員の献眼全員登録の推進
- ◆ 献血運動の推進
- ◆ 糖尿病予防等研修会の実施

レオ育成委員会

- ◆ レオクラブの育成と結成への支援
- ◆ 青少年健全育成（体力の増進）の支援
- ◆ クラブ・ゾーンを越えたレオクラブの合同アクティビティの検討

環境保全委員会

- ◆ 100周年記念植樹による環境改善（国際協会の継続プログラム）
- ◆ 環境保全写真コンテスト

ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会

- ◆ クエスト公開授業の開催
- ◆ ワークショップ、フォローアップ研修、体験セミナーの推進
- ◆ 薬物乱用防止教育認定講師養成講座と薬物乱用防止講座の開催

地区災害支援対策委員会

- ◆ 災害発生時の対策、組織作りと実践（複合アラートとの連携）
- ◆ L C I F 緊急援助金の申請

3. 各委員長活動方針

**地区グローバル・メンバー
シップ・チーム (GMT)**

コーディネーター L 中田泰範

(新潟東 LC)

GMT コーディネーターとして 2 期目を迎えます。前期はグローバルリーダーシップチーム (GLT) の協力をいただきながら、GMT チームの役割と基本的な有り方の構築に努めてまいりました。本年度はこれをふまえて、更なる活動の拡充に努めたいと考えております。

前々年度よりスタートしました、日本ライオンズ会員倍増 3 年計画 (パイロット計画) もいよいよ 3 年目を迎えます。

本年度より倍増計画による家族及び女性会員の増強は新しく創設された「家族・女性チーム (FWT)」が担当することとなりました。

GMT チームはこれらを含めた一般会員 (正会員・賛助会員・優待会員) のトータルの会員増強を目指します。又、333-A 地区にはまだ無い女性オンリーのクラブの創設に向け、FWT チームとの連携を図りながら進めたいと思います。

GMT チームの役割は入会者を増やすことにありますが、それ以上に退会者を出来るだけ減らすことが今や最重要課題となっております。

GMT チームクラブサクセス委員会は退会減が純増に繋がることをしっかり意識し、方策を行動にうつさねばなりません。

しかしながら、これらの課題も結果を得る為にはゾーン・チェアパーソン及びクラブ会長の絶大なご協力がなければ達成できません。

ガバナーチーム・GMT・ゾーンチェアパーソン・クラブ会長・このラインを常に確認共有しながらコーディネートしてまいります。

会員増強・EXT 委員会 (GMT)



委員長 L 岡田博幸
(新潟大野 LC)

2017年の国際協会100周年に向けて「100周年記念会員増強チャレンジプログラム」が昨年7月1日から2018年6月30日までの期間を対象に実施されます。もとより会員増強はライオンズクラブの重要課題であり、ライオニズム高揚・実践の原動力であります。歴代のガバナーがその方針を訴え続けられてきた要因であります。

本年度ガバナーエレクトの掲げる「100周年記念 会員増強チャレンジ中期計画の実践」に着手願います。そして、基本に立ち返りクラブ会員一人が一人を誘う（アスク・ワン）声掛け運動を行って下さい。運動を継続し初年度は各クラブ2名（女性会員含む）の純増を目指して下さい。L.山田實紘次期国際協会長が「アスク・ワン」会員増強キャンペーンは、家庭からはじまります。と訴えておられます。333-A地区クラブ役員、会員の皆様のご理解ご協力をお願いします。

エクステンションについて

少子高齢化の進む厳しい現況下、新たなクラブ立ち上げは難しい局面にあります。ガバナーエレクトの指標に沿って支部（5人以上）の結成を目指すことが現実的であり、「年代を包括した支部結成」をお願いします。FWT（家族・女性チーム）との連携のもと「女性会員クラブをEXT・地域の若手をEXT」と次世代のライオンズクラブを担ってくれる人達に期待したいと思いますので宜しくお願いします。

今年度FWT（家族及び女性チーム）が新たに組織されましたが時代の要請に沿った変革です。100周年の節目、新たな1歩を踏み出しましょう。

行動目標

- 会員増強2名（女性会員含む）を実行しよう。
- 「100周年記念 会員増強チャレンジ中期計画」を策定しよう。
- 支部結成に挑戦しよう。
- アスク・ワンを実行しよう。
- GMT・GLT・FWTと協力し研修会を計画実施します。

目標達成に向けて進捗状況の報告を依頼しますので宜しくお願いします。

クラブサクセス委員会
(会員維持)(GMT)



委員長 L 高島勝
(巻 LC)

ライオンズクラブにおける会員増強は最大の目標であります。今やそれ以上に重要な課題は会員の退会防止であります。その為に国際協会では GMT・GLT・FWT というチームを創設しました。退会を防ぎ、会員の維持を図る。・・・その為の方策としてクラブの強化・クラブの質の向上を目指します。皆さんと共に考え、行動して行きたいと思います。

1. 活動方針

(1) 会員維持、退会者の防止

GMT・GLT・FWT・100 周年記念チームと密接な連携を計り、クラブの向上・会員維持に向けたアクションをとる。

(2) 会員増強、純増 2 名以上の確保に向け「EXT・会員増強委員会」と協同行動

2. ゾーン・チェアパーソンとの連携を強く

ゾーン・チェアパーソンのご協力のもと、会員増強維持の為の工程表を作成し、管理して行く。

3. 会員数 30 名以下のクラブにクラブの強化・向上の方策を提供。

地区グローバル・リーダー シップ・チーム (GLT)



コーディネーター L 佐藤義尚
(栃尾 LC)

GLT 指導力育成に携わり 2 ヶ年目の本年度、ガバナーズメッセージ「常に明るく前向きに、創造的な奉仕」のもと、多くのメンバーと共に楽しい有意義なライオンズ活動の実現に寄与して参りたいと考えます。更に、継続できる会員の意識と、閉塞感のない開かれた感覚の紳士淑女のメリハリのある活動が実現できることを目的と致します。

創造する (クリエイティブ Creative)

- ◎ 地域の現在を検証していますか？
- ◎ 現在クラブが置かれている姿を認識されていますか？
- ◎ 常日頃から晴れ渡った感覚を磨き、真っ白な姿勢で物事をとらえていますか？

変える (チェンジ Change)

- ◎ みんなで本気の話し合いの機会を持っていますか？(阻害することのない)
- ◎ 変化を恐れていませんか？(変化はパワーが必要)
- ◎ 自分の意見は正しいか？ 認め合う姿勢は？(ロバート議事法精神)

挑戦する (チャレンジ Challenge)

- ◎ 一步踏み出そう (検証の基での第一歩)
- ◎ すぐには成果が出ない、挑戦し続けることも大切
(PDCA 検証し続ける やめる勇気も必要)

以上の事柄を今期の指針とし、ガバナーチーム、GMT(会員拡大・会員増強・エクステーション)、FWT(家族会員・女性会員チーム)と協力した中での担当委員会の基でコーディネートを行って参ります。また、一步前進した、青年アカデミーを開催し、次世代のリーダーの発掘、気付きを共有し、開かれたライオンズの実現を 333A 地区内各クラブの皆様と共に模索して参ります。

※ 複合地区 GLT 委員・コーディネーターの情報共有と、国際本部の情報の咀嚼、日本語でのわかりやすい表現に努めて、縦糸と横糸を紡いで参ります。

※ 100 周年記念は、過去の歴史を振り返るのではなく、これからの 100 年を意識したクラブと、メンバーシップを考える良い機会であります。

会則委員会 (GLT)



委員長 L 本間征志

(巻LC)

1. 委員会の目的

会則委員会とは、誠に難しい委員会であるかのような名称であるが、実はライオンズクラブを知って頂くために、一人でも多くのかたよりライオンズ必携を読んで頂くための委員会であると感じております。

必携中に「ライオンと呼ばるる人」という項があります。

- ☆ 事業を成功に導き、善良な生活を楽しむ
- ☆ 常にほほえみをたたえ、人類を愛し
- ☆ 知識人の尊敬を集め
- ☆ 幼児たちに親しまれる人
- ☆ その地位にふさわしく
- ☆ かつ精力的な仕事ぶりにより
- ☆ 一輪の花と心うつ詩と
- ☆ そして、うるわしさを秘めた魂とによって
- ☆ よりよき社会をもたらす人
- ☆ 人生の中に美しき輝きを感じ
- ☆ その賛美の言葉を忘れず
- ☆ 友の美点をつねに見守り
- ☆ 自らの良きところをまた友に贈る
- ☆ その人生こそ偉大なる感激そのもの

彼こそライオンと呼ばるる人

この気持ち、この志を分かち合ってライオンズクラブを継続できる会員と、権威にとらわれない楽しいライオンズクラブの実現を図って参ることを目的と致します。

2. 活動方針（年間重点方針）

（1）新入会員の研修会

- （2）クラブに合った例会づくりの提案（例会の敷居を低くするために、内容等を変更したり、会員同士の連絡の取り方について）

3. 行動目標（各LCへ事業活動の協力お願い）

（1）新会員及びスポンサーを対象にした研修会を開催

- （2）公開クラブ例会（出席率の高いクラブの例会の模様を紹介、又は参加、又はYouTubeにアップ。）

4. 検討課題及び評価基準・その他

- ・会員一人ひとりが、会全体にとって重要な存在であると感じ、さらには地域の現状を認識して頂くために、例会、アクティビティの内容をリニューアルすること

2015-2016 Lions Clubs International District 333-A

長期計画・ 指導力育成委員会（GLT）



委員長 L 細川哲夫
(燕 LC)

我が国においては、人口減少問題が、顕著になりつつある中で、ようやく政府及び各自治体においても、人口減少対策の話題が多くなってきている現状です。ライオンズクラブにおいても、会員の減少は長年の課題であり、歴代のガバナー、キャビネットにおかれては、毎年、会員の拡大や家族会員等の拡大、色々な対応策がとられてきました。

このような活動は、長期に渡り、継続していく事が重要でありますから、GMT（グローバル会員増強チーム）との連携をふまえ、さらに推進していく必要があります。と同時に、ここで一度、ライオニズムの原点に立ち返って、会員の意識レベルの向上をはかり、結束力を強める事が、さらなる活動の強化につながり、その事が、各地区において周知されてくる事で、ひいては会員の増強、会員の継続につながっていくのではないのでしょうか。

そこで本年度においては、当委員会の活動として、下記の流れで進めたいと計画しております。

1. 各クラブで、CEP（Club Excellence Process）ファシリテーターに第一副会長を選任して下さい。
2. CEP ファシリテーター研修会を、早期に開催する。
 - ① クラブ運営や指導力育成について、各クラブの実例等をふまえ研修する。
 - ② GMT、GLT、FWT活動についての報告を含む。
3. 各クラブで CEP ファシリテーターを中心とした例会を開催していただき、キャビネットへ報告をいただく。
4. CEP ファシリテーター報告集としてまとめ、成果として各クラブへ配布する。

各クラブで、活動の原点を再度御確認していただき、新入会員への、ライオンズクラブの考え方や活動の伝授はもちろん、既存会員の皆様にも、今一度、活動への考え方を深めていただき、将来のライオンズクラブ活動の活性化、さらにその事を通じて、会員拡大へと広がっていければ幸いと考えております。

**青年アカデミー
(GLT)**



委員長 L 栗田浩
(亀田 LC)

【キャビネットによる地区委員会重点施策】

(1) 各クラブに青年アカデミー委員会の設置推進

(2) 次代を担う若きリーダーの育成



クラブの垣根を越えた交流と人材育成



会員増強及びリテンション（退会防止による会員維持）につなげる

【目的】

クラブの垣根を越えた会員相互の交流と、人材育成による地区の活性化

(1) 次代のライオンズを担う人材育成と教育クラブ、ゾーン、リジョン、地区の垣根を越え、既存のクラブの枠内では出来ない人脈形成・社会勉強等を行う環境を作る。

(2) 会員増強・会員維持・退会防止・指導力育成の推進若手会員の「無関心」からの脱却、組織の活性化を行い、「We Serve」の精神の下に、会員増強・会員維持・退会防止・指導力育成の推進を図る。

GLT との連携と、チームでの活動による情報の共有を図る。

地区家族及び女性チーム (FWT)



コーディネーター L 大田 朋子
(信濃川 LC)

家族及び女性チームパイロットプログラムは、2014 年 10 月の国際理事会にて決定され、日本において 2015 年 1 月からスタートしました。2018 年 6 月までの 3 年間の任期です。

—活動予定—

- ◆ 地区 GMT・GLT・100 周年コーディネーターと綿密に協力し、家族及び女性に関する GMT・GLT・100 周年の目標が達成されるように努力する
- ◆ ライオンズにおける家族と女性会員の増強を支援し、これらのライオンズ活動における活躍と発展の機会を提供する
- ◆ 家族及び女性に関する問題への対応を各チームと共に行い、新クラブの結成、支部結成を計り、入会促進に努力し退会防止に努める
- ◆ 各リジョンで、FWT との連絡窓口を女性 1 名を選任して頂きたい。
女性会員がいない場合は、早急に対応して頂きたい。

青年・女性会員増強委員会 (FWT)



委員長 L 小嶋 千恵子
(白根 LC)

1. 委員会の目的

- (1) FWT の委員会として若手の青年・女性会員の増強を図ること
- (2) 世代交代のきっかけとなる家族会員の入会を支援する
- (3) クラブ会員の平均年齢を下げる

2. 活動方針 (年間重点方針)

- ・ 若手のリーダーとなる青年・女性会員を各クラブに最低 2 名確保してもらう

3. 行動目標 (各 LC へ事業活動の協力お願い)

- (1) 各クラブ 1 名以上の女性会員の純増
- (2) クラブ員各自が自覚を持って「1 人を誘う」声掛け

4. 検討課題及び評価基準・その他

- ・ 女性会員の入会 1 名以上を評価する

地区 100 周年記念チーム

コーディネーター L 成田澄夫

(亀田 LC)

100 周年記念奉仕チャレンジについて

米国イリノイ州シカゴの実業家メルビン・ジョーンズが 1917 年に「ライオンズクラブ協会」を創立してから、間もなく 100 周年を迎えます。

ライオンズクラブ国際協会では、これまでで最も重要な節目である 100 周年を大々的に祝賀するため、2014 年 7 月～2018 年 6 月までの 4 年間を「100 周年記念奉仕チャレンジ」や「100 周年会員増強チャレンジ」等で段階的に盛り上げていき、祝賀の年である 2016-2017 年度には、地域別祝祭とシカゴ国際大会で祝賀ムードが最高潮に達するよう計画しています。

ライオンズクラブ国際協会では、これらの行動計画を全世界のクラブ員が共有することを強く期待しています。100 周年記念事業を成功させることは、次の 100 年に向けた足掛かりとなると考えるからです。

去る 3 月 5 日（木）開催の、333 複合地区主催「地区 100 周年記念コーディネーター会議」の内容も踏まえ、下記のとおり、100 周年記念行動計画の概要をお伝えいたします。

記**1. 100 周年記念事業を推進する地区組織**

各地区においては、複合地区 100 周年記念チームの支援を受け、地区 100 周年記念チームにおいて、リジョン・ゾーン・クラブの各種活動を支援して行きます。

2. 創立 100 周年のテーマ

創立 100 周年のテーマは、「ニーズ(必要・求め)があるところに、ライオンズがいる」です。ライオンズクラブは、これまでの 100 年間、ニーズがあるところにはいつも必ず存在していました。今後の 100 年間も人道奉仕の第一線に立ち続けます。

3. 100 周年記念奉仕チャレンジ (CSC)**(1) 「奉仕チャレンジ」の目標と期間**

- ① 目 標 : 今後 4 年間に、① 青少年 ② 視力 ③ 食糧支援 ④ 環境
の 4 分野で 1 億人に対して奉仕を行う (各分野 2,500 万人ずつ)。
- ② 期 間 : 2014 年 7 月～2018 年 6 月

(2) クラブのアクティビティを報告

- ① クラブが行ったアクティビティは、【MyLCI】の「アクティビティ報告システム」からオンライン報告する必要があります。

※「MyLCI」又は「サバンナ → MyLCI」

- ② 報告は、アクティビティを実施した月内に行うのが望ましいが、遅くとも毎年7月15日までに前年度の事業報告完了が受賞条件です（最終期限）。

(3) 今年度実施事業の報告について（重要）

既に、各クラブでは今年度実施済みの事業があると思いますが、できるだけ、上記（2）①【MyLCI】から報告してください。

(4) 表彰（アワード）・・・クラブ対象

- ① クラブを対象に「バナーパッチ」が交付されます。

- ② パッチは、1会計年度につき1枚交付。

年度内に報告された、上記3（1）の奉仕チャレンジ分野の種類の数に応じて、宝石が1個～4個プリントされたパッチが交付されます。

(5) 表彰（アワード）・・・地区対象

- ① 地区を対象に「バナーパッチ」が交付されます。

- ② パッチは、1会計年度につき1枚交付。地区内50%以上のクラブが2つ以上の奉仕チャレンジを報告した場合に受賞となります。

(6) 最高位の表彰（アワード）・・・クラブと地区対象

次のクラブと地区には、最高位のアワード（宝石付ピン）が授与されます。

- ① 対象クラブ： パッチ（ダイヤ4つプリント）を4年間 継続受賞したクラブ。

- ② 対象地区： 上記（5）の地区パッチを4年間 継続受賞した地区。

4. ライオンズの100周年を盛り上げるために

今後、各クラブが行う各種事業の頭に「100周年記念」の冠を付けてください。また、「100周年記念ロゴ」（「100周年記念ウェブサイト」にUP中）を最大限に使用してください。

5. 「よくある質問」から

(1) LCI Fへの寄付と100周年記念奉仕チャレンジの関係は？

毎年クラブが最も効果的に100周年記念チャレンジの受賞対象となる方法は、LCI Fを支援することです。LCI F寄付の際、「奉仕チャレンジ」の4分野のうちのいずれかを指定すれば最大3つに対応するとみなされます。

この場合、LCIFが受益者数を算出します。

(2) クラブが実施した事業を4分野へ適用させるには？

【MyLCI】報告システムには、奉仕活動リストに4分野のロゴが付いています。自動でロゴが付かない活動でも、4分野の一つを選択することで100周年記念奉仕チャレンジとして報告可能です。

(3) 受益者数の報告方法は？

植樹、道路清掃、リサイクル活動、公園・遊び場の改修といった「環境」分野の受益者数の数値化は困難が予想されます。数値化は、最終的にはクラブに委ねられます。年間利用者数や地域周辺・町の人口等により、適宜算出してください。

(以上)

PR・情報・IT委員会



委員長 L 渡辺将氏

(分水 LC)

1. 委員会の目的

- (1) IT 社会にふさわしい情報発信を行いライオンズの存在感を PR する
- (2) 国際協会・ガバナー・CAB の方向、方針を理解し情報発信を行う、また各クラブへ浸透・活動を促進する

2. 活動方針（年間重点方針）

- (1) 青少年育成・会員増強・維持などの情報取材を定期的に行う
- (2) イベント活動の取材を行う

3. 行動目標（各 LC へ事業活動の協力お願い）

- (1) 地区委員を通じて各クラブ HP の更新をお願いする
- (2) 地区委員は定期的に各クラブの活動取材を行う
例：家族会員や女性会員・YCE 活動・献眼献血・環境保全・クエストなど
- (3) 各クラブの HP 更新状況・アクセス回数の集計を行う。
- (4) 333 複合 Y C E の取材と広報
- (5) 2016 第 6 回スペシャルオリンピック日本冬季ナショナルゲーム新潟大会の取材と広報
- (6) 記念誌の発行

4. 検討課題及び評価基準・その他

- (1) 課題：今の HP 上で新たに適切な情報発信欄を設けることができるか検討する。
- (2) 評価基準：取材活動への協力・HP の更新回数とアクセス回数の量

国際関係・LCIF委員会



委員長 L 樋口優

(燕LC)

1. 委員会の目的

333-A地区の会員諸兄の皆様方と各クラブに対し、誠に不透明で厳しい経済状況下ではありますが、LCIFへの献金と各種交付金の申請、国際大会、東洋東南アジアフォーラム等への参加と奨励、等々に特段の御理解、御協力をお願い申し上げ、そして皆様方から頂いた献金のよりよい運用により、世界の人々の福祉に貢献し、明るい幸福な社会作りに、少しでも寄与出来るような活動を行って参りたいと考えております。

2. 活動方針

- (1) 各クラブの実情に合った、努力目標を設定して頂き、その目標の達成を目指して御協力をして頂くよう、御理解と御協力の啓蒙活動を行なっていく。

3. 行動目標

- (1) 国際大会への代議員の参加の啓蒙、要請活動
- (2) 東洋東南アジアフォーラムへの参加と啓蒙活動
- (3) 20ドル献金、TMJF (Toward MJF) 献金、MJF 献金の奨励、御願い
- (4) LCIF 交付金の利用を奨励、啓蒙活動

4. 検討課題及び評価基準・その他

今期は、LCIF創設50周年記念事業の献金活動が始まった、2012～2018年の中間の年であります。

333-A地区が今期の目標献金額をなんとか達成出来ますように、最善の努力をしていきたいと思ひます。

そして、各クラブの評価につきましては、ガバナーに御一任させて頂きたいと思ひます。ただ、昨今の経済情勢を考えますと、あまり過度の御願いは避けるべきではないのかななどとも考えております。

とにかく、当委員会は各クラブの皆様方に御願い、御願いの一言に尽きる、との考えで臨み、また啓蒙活動も進めて参りたいと思ひます。

各クラブと会員諸兄の皆様方の、温かいご支援、ご協力を心より御願い申し上げます。

YCE委員会



委員長 L 三部正哉

(越後吉田 LC)

1. 委員会の目的

- (1) 他国の人と接する機会を青少年に与えること。
- (2) 異なる文化的背景を持つ家庭や地域社会の生活を体験させること。
- (3) ライオニズムを通して、国際理解と親善を促進すること。
- (4) 青少年に諸外国の同世代の青少年と交流する機会を与えること。

2. 活動方針（年間重点方針）

- (1) 来日生の受入体制の充実
- (2) 派遣生の増員
- (3) 佐渡市でのYCEサマーキャンプの開催

3. 行動目標（各LCへの事業活動の協力のお願い）

- (1) 来日生受入可能家庭並びに派遣希望者の情報収集
- (2) クラブ会員以外の一般家庭での来日生受入可能性の検討
- (3) OB・OG会員のYCEサマーキャンプへの参加呼びかけ

4. 検討課題及び評価基準・その他

- (1) 来日生の受け入れ・派遣生の派遣、及びそれに関する協力を評価します。
- (2) YCEサマーキャンプに対する協力を評価します。

献眼・献血・糖尿病委員会



委員長 L 西片登三夫

(分水 LC)

1. 委員会の目的

- (1) 角膜移植における慢性的なドナー不足の現状改善に向けた積極的な活動
- (2) 血液製剤の安定的確保を目的とした献血推進活動
- (3) 糖尿病は、怖い病気だという認識と予防啓発

2. 活動方針（年間重点方針）

- (1) 新潟県ライオンズアイバンク協議会との連携により献眼登録の推進とPR動
の実施。さらに、アイバンクサポーターの養成と役割
- (2) 新潟県献血推進協議会との連携により、各クラブ主体となる献血活動の施。
さらに、若年層と冬期間における献血協力養成活動。
- (3) 専門医による「糖尿病予防啓発講習会」を開催。（キャビネット主催）
リジョンもしくは複数クラブ合同での糖尿病を含む健康講座などの実施。

3. 行動目標（各 LC へ事業活動の協力お願い）

- (1) 在籍会員及び会員外の献眼登録の協力。各種イベントで献眼PR活動の実施。
アイバンクサポーターの増員
- (2) 献血の実施。若年層の啓発のため大学、専門学校等への献血協力要請。
冬期間の血液不足時の情報と献血支援協力。
- (3) 「糖尿病予防啓発講習会」に多数参加。さらに、全会員の健康維持のための機
会を
各クラブ創意のもと取り組む

4. 検討課題及び評価基準・その他

- (1) 献眼 在籍会員登録数及び登録率。会員外の新規登録獲得数
アイバンクサポーターの増員数及び行動計画と実施状況
- (2) 献血 献血の実施 献血協力数
献血推進に係る活動報告
- (3) 糖尿病 講習会への参加クラブ及び参加者数
健康講座開催や実施への創意工夫

レオ育成委員会



委員長 L 井上浩一

(燕 LC)

地域にレオクラブを結成すれば、青少年に人道主義者として、またリーダーとして成長するユニークな機会を与えることができます。

青少年の指導育成は、ライオンズクラブに与えられた重要なアクティビティの一つであります。

1. <委員会の目的>

- (1) 青少年に社会の責任者の一員として、育成及び貢献のための機会を提供する環境作りをする。
- (2) レオクラブの育成
ライオニズムを体験、自律と奉仕の精神を培わせ、実践活動の中から一人一人の人格を形成させる。

2. <活動方針（年間重点項目）>

- (1) 地域にレオクラブ結成への努力。

3. <行動目標（各LCへ事業活動の協力お願い）>

- (1) 活動している4レオクラブとの情報交換と活動のサポート。
各クラブとの情報交換。
- (2) 各クラブにおいてレオクラブの目的、モットーの再認。
Leadership（リーダーシップ）
まとめ役、時間管理者、及びチーム・リーダーとしてのスキルを育成します。
Experience（経験）
チームワーク、協力、及び共同作業が地域社会及び世界の劇的な変化をどのようにして促すかを理解します。
Opportunity（機会）
友人を作り、地域奉仕に対する精神的な報酬を得ます。
- (3) 勤労青少年や高校・大学等の学校単位での結成も視野に入れたレオクラブ会員の拡大のための活動。
- (4) レオが主催して実施するキャンプのサポート。

4. <検討課題及び評価基準・その他>

- (1) 地域クラブにおいて、レオ育成推進検討委員会の設置を評価する。

環境保全委員会



委員長 L 吉原勝美
(分水 LC)

1. 委員会の目的
 - (1) 自然環境の保持
 - (2) 各地域の環境美化
 - (3) 国際貢献活動
2. 活動方針（年間重点方針）
 - (1) 里山、河川敷、公園、海岸の定期的美化運動をする
 - (2) 不要めがねフレーム等の回収活動をする
3. 行動目標（各 LC へ事業活動の協力お願い）
 - (1) 各クラブ年間最低 3 回は環境美化活動を実施する
 - (2) 各地域で、他のボランティア団体の活動に積極的に参加する
 - (3) 不要めがねフレーム等の回収活動を通して、途上国への視力回復貢献活動に年間を通して行う
 - (4) 他クラブと合同で、年 1 回位環境美化活動を行う
4. 検討課題及び評価基準・その他
 - (1) 環境美化活動の年間回数上位 5 クラブ評価する
 - (2) 不要めがねフレーム等年間回収量上位 5 クラブ評価する

【情報の提供】

ライオンズクエスト ・薬物乱用防止委員会



委員長 L 高橋武之
(西蒲リパティ LC)

ガバナー方針のひとつにある「青少年の健全育成のために事業を継続しよう。」を受けて活動を推進していく。

ライオンズクエストが333-A地区に導入されて7年目となった。前年度は村上地区でライフスキル向上を目指した授業公開が実践され、ライオンズクエスト教育の有効性が一層明らかとなった。弥彦地区でも村教育委員会が後援する研修に位置づけられ、小・中学校が連携した授業が公開され、ワークショップからの発展が見られた。

そこで、子どもたちと日々向き合っている教育関係者を中心に研修会（ワークショップなど）を開催し、ライオンズクエスト教育の有効性（子どもたちが生きていく上で経験する困難や問題を乗り越えていく力＝ライフスキル）を認識していただき、子どもたちにアプローチしていくノウハウを習得する場の一つとして提供していく。

333-A地区全体を見ると研修開催の空白地区が残っている。点（拠点校）から線（小・中学校の提携）へ、さらには線から面（各地区全体）へと計画的に広げていき、一層の広がりや深まりを図っていくことが大切だと考え、以下の事業を進めていく。

活動の概要

1. 体験セミナーの開催（6年間で14回開催672名受講）

特に、ライオンズクエスト教育研修会開催の空白地域を中心に広くライオンズクエスト教育プログラムの有効性を知ってもらう。（教育委員、教職員、PTA役員、ライオンズクラブ会員などを対象に） 2回開催予定

2. ワークショップ研修の開催（6年間で24回開催 515名修了）

小・中学校連携またはライオンズクラブ会員も参加したワークショップ研修の開催

7月23日～24日 新潟市（濁川中）
8月 6日～ 7日 弥彦村（弥彦小・弥彦中）
8月 6日～ 7日 五泉市（山王中・愛宕中）
8月24日～25日 村上市（村上中学校区）

4回開催予定

3. フォローアップ研修の開催（6年間で4回開催 57名修了）
ワークショップ修了者を対象にスキルアップや実践後の課題解決の場として開催
（8月6日 弥彦小・中学校 8月23日 村上市立小・中学校）
4. 薬物乱用防止教育認定講師養成講座の実施
10月20日（火） リサーチ・コア
5. クエスト委員会の開催（年3回）
各リジョンの活動状況の共有と支援
委員間の情報交換と次年度への課題の明確化
6. 全クラブ（75クラブ）にクエスト担当者を設置
地域や学校などへの啓蒙や働きかけ
各リジョンのクエスト委員との連携
7. 情報の発信（随時）
J I Y Dとの情報交流を図り、最新のクエスト情報の配信

災害支援対策委員会 (アラート)



委員長 L 桑原淳一
(越後西川 LC)

1. 委員会の目的

- (1) 333-A地区内において甚大な災害が発生した場合、災害の実態、状況の把握支援活動への迅速な対応。
- (2) LCIF緊急援助金の申請などの処理を的確に行う。
- (3) クラブ会長、ゾーンチェアパーソンを中心とする連絡系統の整備、確認。

2. 活動方針（年間重点方針）

- (1) 情報伝達訓練を行う。10月頃を予定している。
- (2) 訓練の結果を受けて、見直しを行い、ノウハウを蓄積していく。

3. 行動目標（各LCへ事業活動の協力お願い）

- (1) 気象に関する警報、または避難勧告等が発令された場合、各クラブは災害の発生がないか情報収集の準備態勢に入る。
- (2) 各クラブの活動地域内における災害発生時に、クラブ員相互の安否確認被災状況の情報伝達の方法をあらかじめ決定しておく。特に地震等広範囲及び長時間にわたり通信機能がマヒすることが予想され、注意が必要である。
- (3) 災害発生時において、どのようなアクティビティが可能か、平時よりクラブ内で検討する

4. 検討課題及び評価基準・その他

- (1) ライオンズクラブの活動は、災害救助ではなくあくまで災害支援であり救助活動に支障のない範囲内で、情報収集などの活動を行う。
- (2) 災害時、ライオンズクラブはボランティア団体としての存在意義が問われる。常日頃から防災意識を高めると同時に、被災者支援に積極的に関わっていく必要がある。

地区年次大会



大会委員長 L 田中公一
(分水 LC)

第62回 地区年次大会テーマ

じ り り た
自 利 利 他

第62回 ライオンズクラブ国際協会333-A地区年次大会は
2016年4月23日(土)、西蒲原郡弥彦村 弥彦総合文化会館において開催いたします。
地区ガバナーL相田哲のガバナーズスローガンは『常に明るく前向きに、創造的な奉仕』
です。100周年記念奉仕事業及び会員増強活動を成功させるために大会テーマを「自利利他」
としました。それは、自利(われわれは知性を高め・・・)利他(社会奉仕に精進する)は、
ライオンズの誓いを端的に表しているとの強い思いからです。(WE SERVE)

私たち、3リジョンは新潟県の中央に位置し、日本を代表する河川、信濃川の流域にあります。毎年のように洪水が繰り返した信濃川も、大河津分水の可動堰の完成で終結し、豊かな穀倉地帯となった、新潟平野が形成されました。会場の弥彦の地は、越後一之宮として古くから県内各地から多くの信仰を集めており、今年御遷座100年を迎えました。分水LCを中心として3リジョン9クラブ1支部の全会員の力を合わせ、第62回年次大会の準備を進めてまいります。そして、全員が楽しく笑顔で過ごせる大会にしていきたいと思っております。

多数の皆様のご参加をお願い致します。

水の文化と良寛の里 “分水で会いましょう”





大河津分水路は、1922 年（大正 11 年）の通水から 93 年が経過しました。その間、越後平野は、日本有数の穀倉地帯に変貌し、新幹線、高速道路の開通を可能にするなど、この大河津分水路は、日本海側の中心都市として成長発展する新潟の安全・安心と地域経済・産業活動の発展を支えてきました。このように 3 リジョンの各クラブ、支部は、新潟県を中心に位置しています。

2015-2016 年度 333A 地区ガバナーズ・ロゴは、全国桜の名所 100 選に選ばれている、分水路の堤防に咲く桜の花びらを 6 枚（6 リジョン）で表現し、日本一の長さの信濃川と大河津分水路が、燕市分水で分水されていることを表現、6 リジョンのクラブが、和（輪）をもって強固な協力体制で奉仕活動をしていることをイメージしてデザインされました。

（㈱ネオス代表・長岡造形大学教授 山本敦ライオンよりデザインしていただきました）